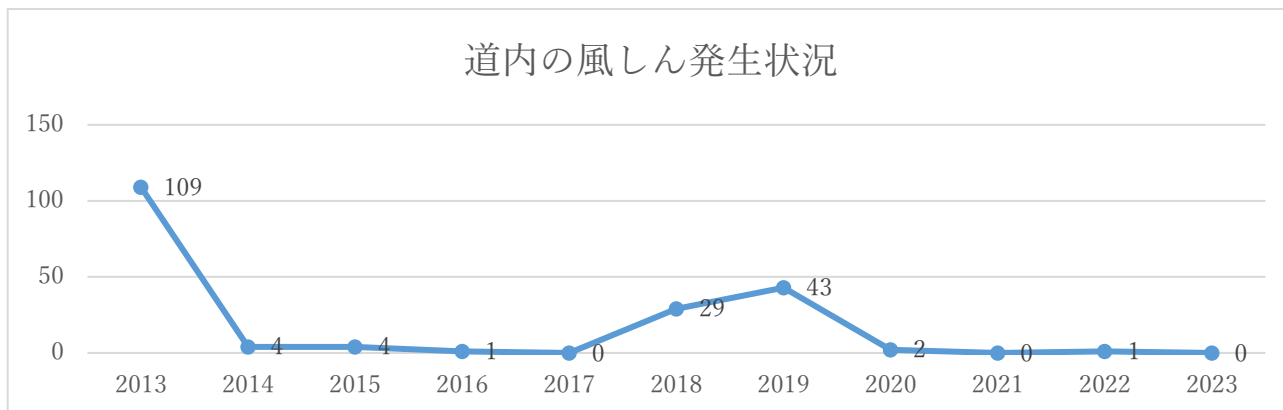


1 風しんとは

風しん	
症状	発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とし、無症状（15～30%）～重篤な合併症併発まで幅広い。妊娠中の女性が感染すると児に先天性風しん症候群（CRS）が出現。
潜伏期間	14～21 日間
感染経路	飛沫感染・接触感染。感染力が強い※（発症約 1 週間前～発疹出現後 1 週間程度感染力がある）。
治療・予防	対症療法のみ。予防にはワクチンが有効。

2 道内の風しんの現状について

- 2011 年にアジアで大規模な風疹流行が発生したことを機に、道内でも 2013 年には 109 人の患者が発生しました。2018 年、2019 年には札幌市と小樽市を中心に再び感染が拡大しましたが、コロナ禍以降は、大幅に減少しています。



感染症発生動向調査システムより作成

3 風しんに関する追加的対策について

風しんに関する追加的対策について	
対策の実施期間	当初：H31(2019).4～R4(2022).3 延長：R4(2022).4～R7(2025).3 まで
実施機関	市町村
対策の趣旨	2018 年夏以降の風しんの感染拡大を受け、過去に公的な予防接種が行われておらず、他の世代と比べ抗体保有率が低い世代の男性の風しん感染を予防
対象者	1962(昭和 37 年)4 月 2 日から 1979(昭和 54 年)4 月 1 日生まれの男性
対策の内容	① 予防接種法に基づく定期接種の対象とし、全国で原則無料で定期接種を実施 ② ワクチンの効率的な活用のため、まずは抗体検査を受け、抗体がない(低い)場合にのみ接種を実施 ③ 事業所健診の機会に抗体検査を受けられるようにすることや、夜間・休日の抗体検査・予防接種の実施に向け、体制を整備

〈予防接種までの流れ〉

抗体検査

(お住まいの市町村から送付のクーポン券使用で無料)

抗体値が
低い場合

予防接種

(原則無料)

※検査実施医療機関については、厚生労働省や市町村のホームページで確認していただくか、お住まいの市町村にお問い合わせください。

4 追加的対策の目標について

- 厚生労働省では、今後の風しんの流行防止に向け、当初目標まで抗体保有率を引き上げることを目的に、目標の到達時期を延長し、引き続き、**令和6年度末まで**追加的対策を実施することとしたほか、この延長に伴い主に以下の促進策を実施しています。

当初目標

- ① 令和3年(2021年)7月までに、対象世代男性の抗体保有率を85%に引き上げる
- ② 令和3年度(2021年度)末までに、対象世代男性の抗体保有率を90%に引き上げる

修正目標

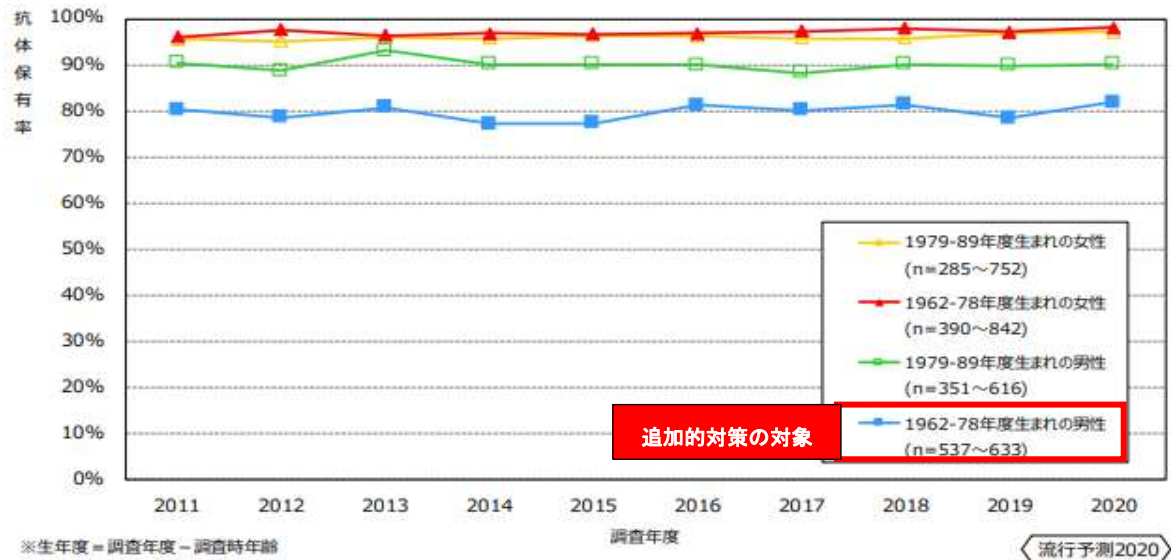
- ① 令和4年(2022年)12月までに、対象世代男性の抗体保有率を85%に引き上げる
- ② 令和6年度(2024年度)末までに、対象世代男性の抗体保有率を90%に引き上げる

期間延長に伴う促進策

- ① 健診に併せた抗体検査を促進する観点から、毎年、抗体検査未受検の対象者全員にクーポン券を一斉送付(一部の自治体では新たにクーポン券を配布しない対応あり)。
- ② 新型コロナワクチンの接種を行う医療機関や大規模接種会場において、ポスター、リーフレットを用いて啓発するとともに、新型コロナワクチンの職域接種を実施する会場に対しても周知・協力を依頼。
- ③ 対象者の利便性の向上を図る観点から、即日、抗体検査の結果が判明する検査キットを導入。

5 抗体保有状況について

図3. 生年度別風疹HI抗体保有状況(抗体価1:8以上)の年度推移 – 2011～2020年度感染症流行予測調査
(2021年5月現在暫定値)



厚生労働省 風しんに関する追加的対策の現状資料2-1より引用

- 国立感染症研究所が、一部の都道府県を対象に実施した調査によると、1962（昭和37年）4月2日から1979（昭和54年）4月1日までに生まれた男性の抗体保有率は、追加的対策実施前の平成30年度（2018年度）では80%程度でありましたが、令和3年度（2021年度※グラフ未掲載）では88%に増加しています。

6 職域団体の皆様へのお願い

- 上記目標到達時期の延長に伴い、厚生労働省では、令和4年4月20日付けで、日本経済団体連合会、全国健康保険組合協会等の職域団体に対し、従業員に対する風しんの抗体検査の機会の提供について協力を依頼しています。
- 道としても、風しんの追加的対策の実施期間が残り1年余りとなる中、対象者が抗体検査を受けやすい更なる環境整備が重要と考えており、職域団体の皆様において次の取組について関係者等へ周知を行うなど、引き続き御協力をお願いします。

- 従業員の定期健診（人間ドック含む）を特定の健診医療機関に委託している場合、委託先に抗体検査の無料クーポン券の使用の可否を確認した上で、定期健診の機会に併せて無料の抗体検査が実施できる旨を案内するなど、必要な調整をお願いします。（※市町村国保加入者（自営業者等）への特定健診の場合においても同様）
- 可能な限り多くの事業所を通じて、風しん抗体検査の対象となる従業員の方に対し受診の呼びかけをお願いします。
- 風しん抗体検査の対象となる従業員の方が検査の受診又はワクチン接種を希望する場合、受診機会拡大の観点から、特段の御配慮をお願いします。

風しん抗体検査

44歳～61歳の男性の皆様へ
厚生労働省からのお願い

風しんの抗体検査を受けてください

「風しん」は、風しんウイルスによっておこる急性の感染症です。発熱や、咳、発疹等が主な症状で、軽症や無症状の方が多いですが、稀に重症化もします。非常に強い感染力をもち、**症状が出る前や無症状でも、人から人へうつる可能性**があります。妊婦の方が感染すると、生まれてくる赤ちゃんに重篤な影響がある可能性があります。ワクチンで風しんを予防し、自分も、周りも、未来の命も守ることに協力ください。

44～61歳の男性は、周囲に風しんの感染を拡大させる可能性があります

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性は、定期予防接種の対象とならなかった方々です。風しんにかかりやすく、職場や家庭、人混みなどで、周囲にも感染を拡大させる可能性が高いことが分かっています。

この方々は、厚生労働省の対策により、**2024年度までは原則無料で抗体検査とワクチンを受けられる**ようになりました。

まず、ご自身が抗体を十分に持っているかどうか、**抗体検査**を受けてください。

抗体検査の結果、必要な場合は**ワクチン**を接種してください。

過去に風しんに罹患したことがあっても、幼少期に何らかのワクチンを打ったことがあっても、現時点で免疫がある（抗体価が十分に高い）とは限りません。

抗体検査を受けて、自分も周囲も安心できる環境作りにご協力ください。

自治体は、居住する**44歳～61歳※の男性**を対象に、原則無料で風しんの「抗体検査」と「予防接種」を受けられるクーポン券を配布しています。（※昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生の方の令和6年1月1日時点の年齢）

クーポン券の使いどころは**3**つ！

1 職域の定期健康診断等

職域の定期健康診断等の機会に**クーポン券を持参するだけ**※1で、風しん抗体検査もできます。風しん抗体検査に余分な時間はかかりません。

2 人間ドック

ドックを受ける時に**クーポン券を持参するだけ**※2で、風しん抗体検査もできます。

3 医療機関受診

病院に**クーポン券を持参するだけ**※2です。

自治体が**無料クーポン券**を発行しています！



※1 職場によって、対応は異なります。クーポン券使用の可否は、ご自身の職場にご確認下さい。
※2 医療機関によっては、クーポン券が使えない場合もあるため、事前にお問い合わせください。



風しん対策の詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

風しんの追加的対策

検索